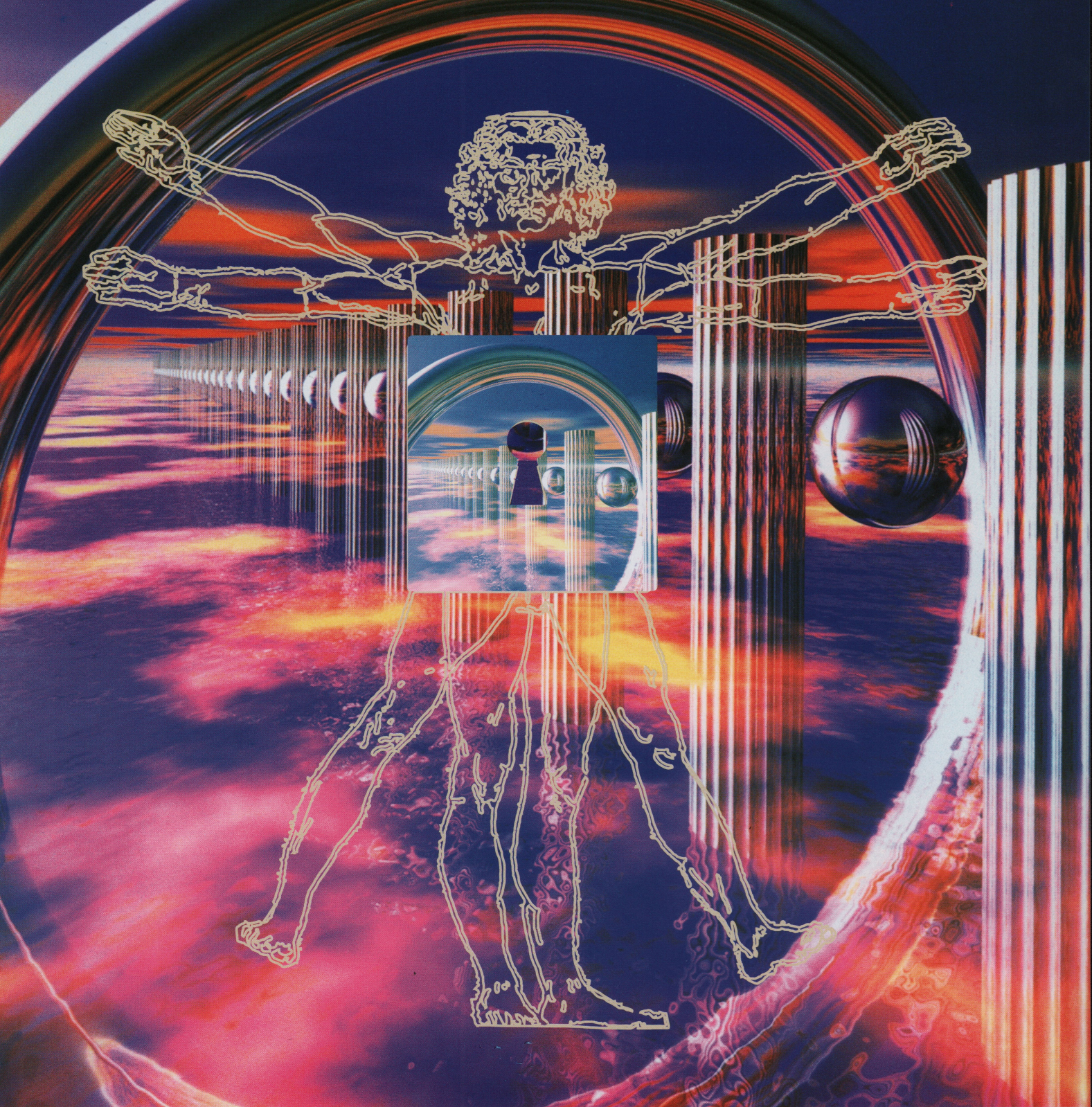


# 2ND DIGITAL RENAISSANCE @ KEIHANNA

アート&テクノロジー国際シンポジウム  
第2回 デジタル・ルネッサンス @ けいはんな  
『メディア、文化、ビジネスの未来学』



■ 日時:2001年2月13日(火) ■ 会場:けいはんなプラザ(京都府精華町)  
主催:(財)関西文化学術研究都市推進機構 / (社)関西経済連合会 共催:(株)ATR知能映像通信研究所

# 『メディア、文化、ビジネスの未来学』

## 主旨

アートがテクノロジーと結びついたのは1960年代からだけれど、一般的になったのはコンピュータで絵が描けるようになってからだ。一方、技術がマルチメディアを作り、絵や音をインタラクションするようになり、アートの要素が必要だと気づいたのは80年代にはいってからだ。そして、我々のライフスタイル、文化、ビジネス、メディアの変遷に対応して変化していった。現代の技術は、我々の環境をいつのまにか変えてしまう表皮、衣服のようなものだ。外側が変化しても、内側、人間の中身=心は、技術の変化に対してそう簡単には変わらないのだ。アーティストはコンピュータと創造力を組合せて人間の心を描こうとした。優れた作品は、先端技術と人間の心の感覚をうまくバランスをとって新しい美的価値を生み出している。21世紀が始まり我々のライフスタイルはどう変わるのか、アート&テクノロジー研究の現役の専門家達がその鍵を探る。  
(土佐 尚子 記)

## パネリスト

- ◆ **ヒシャム ビズリ**  
映画監督 / MIT高等視覚研究所研究員
- ◆ **モニカ フライシュマン**  
メディアアート&リサーチグループリーダー / ドイツ国立情報処理研究所
- ◆ **ジェームス ゲーリー**  
ジャーナリストTIME誌
- ◆ **伊東 順二**  
美術評論家
- ◆ **ケント ラーソン**  
建築家 / MIT建築学科
- ◆ **中村 伊知哉**  
MITメディアラボ客員教授
- ◆ **中津 良平**  
ATR知能映像通信研究所社長
- ◆ **キャサリン サウンダース**  
アートキュレーター / Thinktech
- ◆ **土佐 尚子**  
アーティスト / ATR知能映像通信研究所・MIT高等視覚研究所

## 申し込み・お問い合わせ先

参加ご希望の方は、デジタルルネッサンス事務局のホームページからお申し込みください。ホームページでは、常に最新の情報を発信していますので、シンポジウムの概要がより詳しくご覧いただけます。また下記申し込み書を利用してファックスでもお申し込みいただけます。先着250名様まで受付。

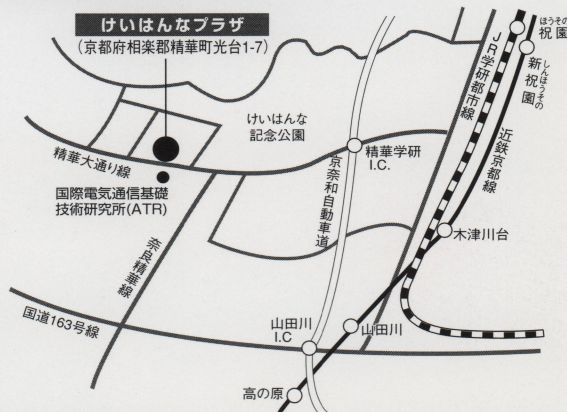
(財) 関西文化学術研究都市推進機構 デジタルルネッサンス事務局  
TEL: 0774-95-5105

## プログラム

9:15	<b>パネル1:アート&amp;テクノロジーというニュービジネス</b> ナビゲーター: 中津 パネリスト: 伊東、ゲーリー
11:00	<b>パネル2:ネクストメディアとは</b> ナビゲーター: サウンダース パネリスト: 中津、中村
12:30	<b>昼 食</b>
13:35	<b>パネル3:未来の芸術の様式</b> ナビゲーター: 土佐 パネリスト: フライシュマン、ビズリ
15:25	<b>パネル4:インタラクティブアートは、社会に何を貢献できるか?</b> ナビゲーター: ゲーリー パネリスト: 土佐、ラーソン
17:10	<b>ベストフィルムショー</b> セレクションと紹介: ビズリ
17:50	<b>閉 会</b>
18:00	<b>パーティー</b>

(プログラム企画: 土佐 尚子 ATR知能映像通信研究所・MIT高等視覚研究所)

## アクセス



- 鉄道利用 (JR・近鉄) の場合 JR学研都市線祝園駅・近鉄新祝園駅よりバスで8分
- 大阪より乗用車利用の場合 阪神高速道から国道163号線、奈良精華線利用で約50分
- 京都より乗用車利用の場合 国道24号線より京奈和道路、精華大通り線利用で約50分

関西文化学術研究都市



参加申し込み先 <http://www.keihanna-plaza.co.jp/KRI/> または Fax:0774-95-5104

(よみがな)  
氏 名

所属・役職

連絡先

電 話

FAX

メールアドレス

パーティー (参加費3,000円が必要です)

参加します / 欠席します